

全建発第6-033号  
令和6年 5月14日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和  
(公 印 省 略)

令和6年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、震災伝承施設等の視察を通じて、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
----------------------------------------------------------------------------------------

全建発第6-034号  
令和6年 5月14日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿  
都道府県 建設関係部局長 殿  
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和  
(公 印 省 略)

## 令和6年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新、i-Construction とインフラ分野のDXの推進に向けた取組など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしています。また、実地研修会では、明石海峡大橋、大河津分水路改修事業など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、震災伝承施設等の視察を通じて、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社)全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
---------------------------------------------------------------------------------------

主催：(一社)全日本建設技術協会 後援：国土交通省(予定)

令和6年度 実地研修会  
東日本大震災の復興と現状 ～3.11からの復興と伝承の取組～  
概要

(1日目) 開場13:00	令和6年7月11日(木) 【聴講】		(敬称略)
13:30 } 東日本大震災の体験と伝承の取組(仮) 14:30		釜石市のちをつなぐ未来館 語り部 ※オンライン	川崎 杏樹
14:40 } 国営追悼・祈念施設整備事業について 15:20		国土交通省東北地方整備局 東北国営公園事務所 所長	澤田 大介
15:30 } 震災対応の伝承と 16:10 (一財)3.11伝承ロード推進機構について		(一財)3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事	原田 吉信
17:30 } 19:00	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> 会場：Private Dining 隠家(あじと)北上店		
(2日目) 集合(乗車) 7:40～	7月12日(金) 【現場研修】		
<p><b>JR北上駅東口(8:00) 出発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 遠野市後方支援資料館</li> <li>→ 鶴住居川水門・防潮堤、釜石鶴住居復興スタジアム → 昼食〔釜石市内〕</li> <li>→ 高田松原津波復興祈念公園・東日本大震災津波伝承館</li> <li>→ JR一ノ関駅(17:00) 着後解散</li> </ul> <p>※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。</p>			

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム 【聴講】2単位、【現場研修】1.5単位

聴講会場 北上市生涯学習センター 第1学習室  
岩手県北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ3F TEL:0197-72-8303

## 現場研修事業の概要

### 1. 3.11 東日本大震災 遠野市後方支援資料館【3.11 伝承ロード】

…………… 岩手県遠野市

遠野市は、東日本大震災において官民一体で取り組んだ後方支援活動について、関係資料を展示する仮設展示場として、平成 27 年 3 月 14 日に資料館を開設した。

その後、震災から 10 年を迎えるにあたり、震災遺産の展示や映像コーナーを設けて内装を一新し、令和 3 年 3 月 7 日にリニューアルし常設化した。遠野市が取り組んだ沿岸被災地後方支援活動は、災害支援の先進的事例として、多くの人が視察に訪れている。



### 2. 鶉住居川水門・防潮堤

…………… 岩手県釜石市

東日本大震災で津波の直撃を受けた釜石市の鶉住居川河口に新たに建設された「鶉住居川水門」は、延長 236 メートル、TP +14.5 メートルで設計され、深い所では 30 メートル以上にも及ぶ鋼鉄製の基礎杭を 1,100 本も打ち込み、支えている。

水門は津波を受け止める 5 つのカーテンウォールとゲートで構成され、上部に 4 つの機械室が置かれており、遠隔操作で開閉する。

一方、同水門と一体で津波防護機能を発揮する片岸防潮堤は延長 818 メートルで、堤体の高さは水門と同じく 14.5 メートルとなっている。東日本大震災の津波で旧防潮堤が壊れた教訓から、より粘り強い工法が採用され、堤体上部には高さ 1.1 メートルの柵が設置されており、完成後は散策路としても活用されている。



### 3. 釜石鶉住居復興スタジアム

…………… 岩手県釜石市

釜石市は、アジアで初開催されたラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会の開催都市に選ばれ、市の復興のシンボルとして、被災した市立鶉住居小学校・市立釜石東中学校の跡地に『釜石鶉住居復興スタジアム』を新たに整備した。

震災の際、手に手をとって逃げて助かった子供たちの率先避難行動は、世界中に広く紹介されたことから、新スタジアムは「震災の記憶と防災の知恵」を次世代に伝えるスタジアムを目指している。



#### 4. 高田松原津波復興祈念公園及び東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）

##### 【3.11伝承ロード】

…………… 岩手県陸前高田市

高田松原津波復興祈念公園の国営追悼・祈念施設は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志発信の場として整備された。

広田湾から津波がさかのぼった気仙川へと至る「祈りの軸」を中心に、7万本の松のうち1本だけ残った「奇跡の1本松」、重点道の駅として復旧された道の駅「高田松原」、震災遺構「タピック45」、海岸防潮堤等と一体となった空間として、追悼の広場等が整備され、令和3年12月26日に全面開園となった。



東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指している。館内は4つのゾーンからなり、津波災害を歴史的・科学的視点からひもとくことで、古来、育まれてきた知恵や技術、文化を見つめ直し、自然とともに暮らすということを改めて考える。

そして、被災した実際の物、被災の現場をとらえた写真、被災者の声、記録などを通して、東日本大震災津波の事実を見つめるとともに、逃げる、助ける、支えるなど、東日本大震災津波の時の人々の行動をひもとくことで、命を守るための教訓を共有する。

さらに、国内外からの多くの支援に対する感謝の気持ちとともに、東日本大震災津波を乗り越えて前へと進んでいく被災地の姿を伝えている。



##### 【3.11伝承ロード】の取組について

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東日本の太平洋沿岸500kmにも及ぶ広い範囲が甚大な被害を受けた。被災地ではそのような被害の実情や貴重な教訓を伝えていくための施設が多く整備されている。しかしながら、それらの震災伝承施設は、複数の県にまたがる広大なエリアに数多く点在し、これらの情報を集め限られた時間で巡ることは容易なことではない。そのため、目的や時間に応じて効率的に施設を訪問できるように、伝承施設情報を分類整理して提供し、案内マップや標識を設置しネットワーク化することとしている。

このように、震災伝承施設をネットワーク化する「3.11伝承ロード」は、「震災伝承のプラットフォーム」であり、地域の防災力の向上と被災地の地域振興を目指すものである。

令和6年度 実地研修会 東日本大震災の復興と現状  
～3.11からの復興と伝承の取組～ 募集について

① 日程：

令和6年7月11日（木）

【聴講】（開場13:00～）13:30～16:10 北上市生涯学習センター 第1学習室  
岩手県北上市大通り1-3-1 TEL:0197-72-8303  
（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

令和6年7月12日（金）

【現場研修】8:00～17:00

（集合）JR北上駅東口（8:00）出発  
→ 遠野市後方支援資料館  
→ 鶴住居川水門・防潮堤、釜石鶴住居復興スタジアム  
→ 昼食〔釜石市内〕  
→ 高田松原津波復興祈念公園・東日本大震災津波伝承館  
→ JR一ノ関駅（17:00）着後解散

② 募集人数：46名（中型バス2台）

③ 旅行代金：一般（非会員）……………29,900円（税込）

（研修料）正会員・特別会員・賛助会員……………26,900円（〃）

一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。

※昼食の費用は含まれておりません（各自で自由昼食となります）。

④ 申込方法：申込書に必要事項を記入し、メールにて西鉄旅行（株）にお申込み下さい。

申込者数が募集定員以内の場合、参加できる旨をご通知します。

申込者数が募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考しその結果をご通知します。

選考の通知は、6月18日頃を予定しています。

旅行代金（研修料）の振込みは、選考結果の通知後にお願いします。

<個人情報の取り扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

⑤ 申込締切日：令和6年6月13日（木）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

⑥ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com

申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328

⑦ 送金先：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472 ニシテツリョコウ（カ）

- ⑧ 変更・取消し：申し込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メールタイトルに「変更」又は「取消」と明記の上、⑥の申込先宛にメールで送付して下さい。なお、取消しの場合には、取消日に応じて下記の取消料が発生します。  
 ※電話での変更・取消しは受付できません。

【取消料】

取 消 日	取 消 料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前 ～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ⑨ 添 乗 員：(一社) 全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行(株) 添乗員が同行します。

- ⑩ そ の 他： 視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。  
 参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。  
 事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。  
 詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

- ⑪ 視 察 企 画：(一社) 全日本建設技術協会 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル  
 視察のお問合せ 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640  
 MAIL kensyu@zenken.com

- ⑫ 旅行企画実施：西鉄旅行(株) 東京団体支店  
 東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階  
 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com  
 登録番号：T2290001009530  
 観光庁長官登録旅行業第579号 (一社) 日本旅行協会正会員

## 聴講会場及び現場研修集合場所案内図



聴講会場 北上市生涯学習センター 第1学習室  
岩手県北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ3F

## 宿泊斡旋のご案内

- ① 宿泊斡旋：宿泊希望者には北上市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
- ② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。  
選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。
- ③ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com  
申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328  
(営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝)  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

- ④ 取り消しについて：

宿泊日の14日前～	宿泊日の7日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の10%	宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

- ⑤ 斡旋する宿舎名、宿泊料

令和6年7月11日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
①グリーンホテル北上 〒024-0061 岩手県北上市大通り 1-11-3 TEL：0197-65-5500	シングル	15名	8,000円
②JR東日本ホテルメッツ北上 〒024-0061 岩手県北上市大通 1-1-34 TEL：0197-61-2222	シングル	15名	9,900円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

※宿泊代金は西鉄旅行（株）東京団体支店までお支払いください。

※ご希望のホテル番号（①または②）を申込書に記入してください。先着順で手配いたします。

※喫煙ルームをご希望の方は、申込書に“喫”と記入してください。

※喫煙・禁煙ルームの数にはそれぞれ限りがある為、ご希望に添えない場合があります。

※定員を超えた場合は代替ホテルのご案内になります。予めご了承ください。

### 【斡旋宿舎及び会場の案内図】



令和6年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）に参加の皆様へ  
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



（一社）全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を開催しています。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和6年7月11日（木） 17:30 ~ 19:00（予定）

場所：Private Dining 隠家（あじと）北上店（聴講会場ビルB1F）

会費：2,000円（予定）  
（受付時にお支払いいただきます）

※都合により、開催を中止とする場合があります。

※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。

※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流 ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

＜問合せ＞ （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com